

PRODUCED BY
MORIMURA YASUMASA
MORIENNALE

瀬戸内国際芸術祭2010 連携

森村泰昌 モリエンナレ。まよひぶ 美術史

2010年7月17日【土】—9月5日【日】

会期中無休

開館時間：月～土曜日・祝日（9:30～19:00）／日曜日（9:30～17:00）／入室はいずれも閉館30分前まで

入場料：一般 800円（640円） 大学生 500円（400円） 高校生以下 無料 ＊（ ）内は前売りおよび団体20名様以上の料金

＊前売りは美術館1階受付／ゆめタウン高松サービスカウンター／宮脇書店本店および南本店にて販売

65歳以上の方（長寿手帳等が必要）・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

主催：高松市美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会／RNC西日本放送 後援：NHK高松放送局 協賛：ライオン／清水建設／大日本印刷

高松市美術館

Takamatsu City Museum of Art

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL: 087-823-1711

ホームページ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/bijyutu/index.html>

PRODUCED BY MORIMURA YASUMASA MORIENNALE

名画の登場人物や女優などに自ら扮したポートレート作品で知られる森村泰昌(もりむら やすまさ/1951年大阪生まれ)。そのデビュー作品は、1985年の《肖像(ヴァン・ゴッホ)》(高松市美術館蔵)ですが、森村はそれ以前にもたくさんのユニークな作品を制作していました。それらはダ・ヴィンチからデューラー、カンディンスキー、岡本太郎、赤瀬川原平まで、森村が感銘を受けた様々な作家たちのスタイルをまねて描いた作品で、それらは今まで全く公開されず、森村の手元で大切に保管されてきました。

今回の展示では、これら森村の若かりし頃の作品を、森村に影響を与えた作家の作品とともに、初めて公開します。美術史を「まねぶ(まなぶ・まねるの語源)」ことで表現の可能性を果敢に探求した森村の知られざる前半生の仕事は今明らかにされます。田中敦子《電気服》とともに展示される森村の《電気服》へのオマージュ作品など、本展覧会のための新作もぜひご期待ください。

*《電気服》を題材とした森村の新作(映像バージョン)が女木島・福武ハウスにて展示されます(7月19日~10月31日予定)



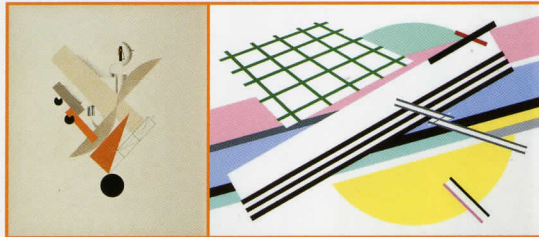
① ②



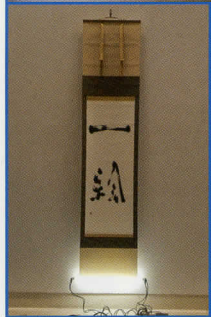
③ ④



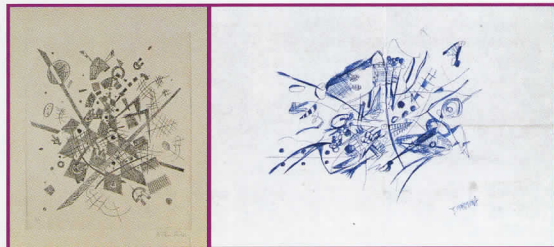
⑤



⑦ ⑧



⑥



⑨ ⑩

- ① 岡本太郎《生成》1961年
- ② 森村泰昌 1970年代中頃~後半
- ③ 合田佐和子《くわえタバコのデトリッヒ》1973年
- ④ 森村泰昌《Mのセルフポートレート No.62/B(あるいはディートリヒとしての私)》1995年
- ⑤ 河川龍夫《石と光》1971年
- ⑥ 森村泰昌《一絵》1995年
- ⑦ エル・リツキー《太陽の征服》1923年
- ⑧ 森村泰昌 1983年

- ⑨ ワシリー・カンディンスキー《小さな世界》1922年
- ⑩ 森村泰昌 1967年頃
- ⑪ 森村泰昌 1970年代中頃~後半
- ⑫ 菅井汲《雲》1959年
- ⑬ 森村泰昌 1973年頃

*①③⑤⑦⑨⑫は高松市美術館蔵
それ以外は森村泰昌氏蔵

◎ モリエンナレとは? : 美術史を公的な一般論的なものとしてとらえるのではなく、私的な個人史との脈絡で語ることによって、等身大の美術史を見つけ出す。美術についての個人的体験に軸足を置くことで語りうる「私美術史」の実現、これを、等身大をはるかに超えた規模で展開する昨今のビエンナーレやトリエンナーレをいささか皮肉のスタンスで、「モリエンナレ」と称してみたい。—— 森村泰昌

森村泰昌モリエンナレ まねぶ美術史



⑪



⑫

⑬

[関連イベント]

◎ 記念対談

7月18日(日) 14:00~(開場13:30)

講師: 森村泰昌氏(美術家) × 佐々木幹郎氏(詩人)

講堂にて/無料(定員150人 当日10:00より1階受付にて整理券配布)

◎ 森村泰昌トークショー「まねぶこころとモリエンナレ」

8月7日(土) 14:00~(開場13:30)

講師: 森村泰昌氏

講堂にて/無料(定員100人 当日10:00より1階受付にて整理券配布)

◎ 視「聴」覚教室プロジェクトあなたの耳が作品にー

(NHK高松放送局共催事業)

7月19日(月・祝) / 8月7日(土)

講師: 森村泰昌氏/参加者の耳を型取りし作品を制作します。

詳細は当プロジェクトチラシもしくはホームページをご覧ください。

お申込はNHK高松放送局(電話 087-825-0160) まで

◎ 担当学芸員によるギャラリートーク

7月24日(土) 14:00~

2階展示室にて/観覧券が必要

◎ 美術館ボランティアcivi(シヴィ)によるギャラリートーク

会期中の毎日曜・祝日 11:00~・14:00~

(7月18日および19日の14:00をのぞく)

2階展示室にて/観覧券が必要

◎ 美術館の日 8月7日(土) ワークショップなど予定

無料/当日は展覧会観覧料が無料となります

11:00~11:30/13:00~13:30 エントランス・ミニコンサート開催

[交通のご案内]

- JR四国...JR高松駅下車、南へ徒歩15分
- こでん...瓦町駅または片原町駅下車、徒歩10分
- バス路線... (レインボー循環バスほか) 紺屋町バス停下車、徒歩2分 (まちバス) 丸亀町バス停下車、徒歩2分
- 駐車場...美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

